

2021 年度の教育学演習3・9について

☆担当 村田晶子 akikom@waseda.jp

- ・専門：社会教育学
- ・研究テーマ：性差別と教育・学習、成人女性・育児期の女性の教育・学習、成人の学習論、対人援助専門職（社会教育主事・社会教育士）の養成と研修、社会教育実践分析研究（実践と理論の往還）
大学におけるジェンダー平等教育・ダイバーシティ

☆本演習の目的：

- ・社会や生活の中で人々が営む領域にある様々な問題を問題としてとらえ（テーマを立て）その実態の解明を共同で探求する方法を考えあうこと、そしてそれを通して、研究手法を身につけることを目指します。
- ・今日の社会は混とんとして、既存の知識を覚えて応用するという教育・学習観は通用しなくなってきています。混とんとした状況の中から問題をとらえ、それを共同で研究し、解を導きだす力をつけていくことを目指します。

☆演習の内容

- ・研究テーマは各自の問題意識から立ち上げます。
- ・これまで、社会教育、家庭教育に関するテーマとして、育児・子育て、保育、コミュニティの教育、ワークライフバランス、仕事と家庭、スポーツ、セクシュアルマイノリティ、性教育、差別、虐待、貧困、格差、デス・エデュケーションなどに関心が寄せられ、それらを統合させながらグループ研究を組織しました。
- ・今年の研究グループは次の6班です。
 - ★家庭環境班
 - ★性教育班
 - ★子どもの居場所班
 - ★日本の中の差別班
 - ★死と生の教育班
 - ★障害者スポーツ班

☆研究を進める基本的姿勢：

- ・シラバスに示している通り、本演習は、社会教育を研究領域とする演習です。社会の中にある様々な問題を共同で研究し、課題を探求します。
- ・研究方法としては共同学習を基本としています。
- ・2021年度は開始当初の2回くらい、報告書の内容を共有する作業から始めます。（継

続履修の方々のご協力よろしくお願いします。)

・演習は幹事さんたちを軸として進めます。その他、取り組みごとに実行委員会を組織し、自主的に進めていくことを基本としています。

・通常の授業と並行する行事や取り組みを予定しています。2019年度は、公開講演会の開催、合宿、一日ゼミ、少年院見学、早稲田教育実践研究フォーラムの運営と参加等の取り組みを行いました。昨年はコロナのために、合宿や少年院の見学はできませんでした。一方、懇親会や最終のまとめのための半日ゼミ、早稲田教育実践研究フォーラムはオンラインで開催しました。今年は状況が許せば少年院の見学等出かけていきたいと思います。

・1年間のまとめとして報告書を作成します。

☆年間スケジュール（予定）

- ・4月から5月 前年度報告書の解題、研究テーマの設定と班編成、
文献解題（4年生から2年生まで3分間で文献を紹介・報告）
 - ・5月から6月 各班のテーマ、研究方法設定
 - ・7月から12月 班発表
 - ・11月第2週目（早稲田祭翌週の予定）
早稲田教育実践フォーラムとラウンドテーブルの企画運営、参加
 - ・1月 発表と報告書のとりまとめ
 - ・1月末 一日ゼミ
- * 秋学期に少年院ほかの見学、合宿等を予定

2020年度はコロナ禍のためにほとんど ZOOM を使ったのオンライン授業でした。しかし、幹事さんを中心にしてその制約を乗り越える工夫がなされ、秋に少しだけ対面授業（オンライン参加との並行）が、実現しました。下の写真はその日の様子です。また、年度末には懇親会もオンラインで実現しました。



秋学期の対面授業の風景 「密」を避けて話し合い